



烏田 真理子さん

写真館に10年以上勤務し、様々な年代がメイクで変わる瞬間を見て奥深さを学ぶ。現在1児の母。



流行のコスメを取り入れて 一番良い表情に

メイクアーティストが作る『IGARI』のアイブロウやハイライトに大活躍する『rms beauty』のルミナイザーなど流行を詰め込んだポーチ。忙しい朝はつい指でメイクすることもあるそうだが、ここぞという場面には熊野筆でしっかり気分を上げるという。

わたしの愛用熊野筆



写真館に勤務し、プロの技を見て熊野筆の仕上がりを実感。以来10年以上使い続けているチークブラシのセット。



松本 奈穂子さん

大手企業の秘書を経験後、メディカルクラークとして活躍。メイクは気分を高めるツールとして欠かせない。



熊野筆で自然な光沢感 溢れる仕上がりを実現

お気に入りメーカーは『イヴ・サンローラン・ポーチ』という松本さん。口紅がお気に入り、同じシリーズで色違いを持っているのだとか。また『La Maison Guerlain』のフェイスパウダーを熊野筆で使うとより血色がよく、立体的で華やかな顔に仕上がるそう。

わたしの愛用熊野筆



大学生の頃から15年程愛用しているフェイスブラシ。パフよりも繊細に化粧が仕上がって、毛羽立たないので重宝しているそうだ。



武石 七海さん

喫茶店オーナー。お客様と接する上で明るい雰囲気のメイクを心掛けている。



ハイブランドもプチプラも 最高の仕上がりに

休日や特別な日に活躍する熊野筆。大切にしたい『Chanel』のアイシャドウや口紅、普段から使いやすい『KATE』のアイブロウなど熊野筆なら化粧品品の品質に関わらずキレイに仕上げてくれるという。アイメイクの色を変えて楽しむのがブームだそう。

わたしの愛用熊野筆



大学生の頃にプレゼントされた、熊野筆5本セット。柔らかくて毛羽立ちもなく、何年も変わらず使用できるのも熊野筆の魅力だ。

美人の秘訣はここにある!? 美人のポーチを大公開

明るい笑顔のその秘訣とは!? 愛用の化粧品ブランドや気分を上げるコスメなどポーチに隠された美人の秘訣を大公開。化粧の仕上がりが格段に変化する「熊野筆」の使いどころも教えてもらいました。